

CHECK

SDGsによる  
自治体ブランドの構築を

一般質問映像



「持続可能なまちづくり」自治体SDGsの推進を



すぎもり  
杉森 賢二  
議員

Q

自治体モデル事業でSDGs未来都市へ

A

SDGs推進の方向でブランド戦略に取り組む

SDGsを町内外へ  
発信し浸透を

**問** 環境に配慮した施設をエコツーリズムとして、ホームページや、現地看板で統一性を図り紹介し、ブランディングの考え方でSDGsの事業展開を。  
**都市環境部長** 町では「フェルヒアながいずみ」や「長泉小学校のプレハブ校舎」など再生可能エネルギーを活用した公共施設づくりに努め、これから建設する「鮎壺公園の交流施設」も国が環境に配慮した建築物として推奨するゼロエネルギービルディング（ZEB）の仕様とし認証を受けている。また、公共施設に留まらず、先進的取り組みで県内外から多くの視察を受けた「環境配慮型マンション」にお

ける「クレジットの活用など民間事業者との連携を図りホームページに掲載している。この他、「鮎壺の滝」「鯉が淵」「割狐塚神社」などの説明看板も、統一性のあるデザインで一体的な印象としている。今後このような取り組みを持続し、より多くの方々に町の魅力が伝えられるよう内外に発信し、ブランディングを推進したい。

**問** 自治体SDGs推進評価・調査検討会が行っている、SDGsに関する全国アンケート「地方創生SDGs達成に向けた取り組み状況」の評価数値を踏まえ町の見解は。

**企画財政課長** 自治体別「地方創生SDGs達成に向けた取り組み状況」において、調査項目のうち、「推進組織の設置等による体制づくり」と「その他SDGs推進に向けた取組」の2項目が低い評価となっているが、この調査の時期が令和4年10月であり、町がSDGs宣言制度を実施する前の調査内容となっているため問題ないと考えている。

ち、「推進組織の設置等による体制づくり」と「その他SDGs推進に向けた取組」の2項目が低い評価となっているが、この調査の時期が令和4年10月であり、町がSDGs宣言制度を実施する前の調査内容となっているため問題ないと考えている。

自治体SDGs  
モデル事業の展開を

**問** 政府は、SDGs達成に向け優れた取り組みを提案する都市、地域を「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」に選定し、取り組みを支援している。この町の個性や価値を生かした自治体SDGsモデル事業の展開を。  
**総務部長** SDGs未来都市の申請を視野に入れながら、まずは総合計画の推進を最優先に取り組みとともに、町のブランドシンボルが、SDGs推進の方向性と一致するため、引き続きブランド戦略にも取り組んでいく。

**問** SDGs浸透を確認するため住民に向けたSDGsに関するアンケートを実施し、意識調査を行っていただきたいが。  
**課長** SDGsに関する内容の単独調査は考えていないが、調査の必要性を認識した際は、毎年実施している住民意識調査の項目として追加することも検討したい。